

第2回水戸市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 附属機関の会議の名称
第2回水戸市スポーツ推進審議会
- 2 開催日時
令和5年11月29日（水） 午後2時00分から4時30分まで
- 3 開催場所
アダストリアみとアリーナ2階 会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員
日下 裕弘, 小澤 聡, 千ヶ崎 高志, 宮田 正子, 江戸 寿, 友部 静江,
瀬田 元吾, 薮 喜代子, 小沼 惣一, 岡田 澄子
 - (2) 執行機関
田沢 春彦, 大高 暁, 加藤木 宏志, 秋葉 優策
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 市民の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査結果について（公開）
 - (2) 水戸市スポーツ推進計画（第2次）素案について（公開）
- 6 非公開の理由
なし
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。）
なし
- 8 会議資料の名称
 - （資料1）令和5年度 第2回水戸市スポーツ推進審議会 次第
 - （資料2）水戸市スポーツ推進審議会 委員名簿
 - （資料3）市民の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査結果 資料①
 - （資料4）施策の展開 資料②
 - （資料5）目次 資料③
- 9 発言の内容
【執行機関】本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

第2回、水戸市スポーツ推進審議会を開催させていただきます。

それではまず、____会長から御挨拶をお願いいたします。

(会長あいさつ)

【執行機関】ありがとうございました。次に、本日の出席者数を報告させていただきます。本日の審議会は委員13名中、10名が出席されております。委員の過半数以上の出席でございますので、水戸市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に基づき、本日の審議会は成立していることを申し上げます。

また、審議会につきましては、水戸市附属機関の会議の公開に関する規程第3条に基づきまして原則公開とさせていただきます。なお、本日の傍聴者はございません。

続きまして、配付しております資料の御確認をさせていただきます。クリップ止めで、置かせていただいております。次第、委員名簿、資料①市民の運動スポーツ活動に関するアンケート調査結果、資料②施策の展開、資料③参考目次、以上5点でございます。なお、資料①と②につきましては、事前に郵送させていただきます。以上になりますが、資料の不足等ございますでしょうか。

(不足等なし)

【執行機関】特にならなければ早速議題に入らせていただきたいと思います。これからの進行につきましては、水戸市スポーツ推進審議会条例第6条第1項に基づき、____会長に議長をお願いいたします。

それではよろしくをお願いいたします。

【会長】はい。それでは委員の皆さま、よろしくをお願いいたします。議事に入る前に、会議の公開に関する規定に基づき、会議録の公開が必要になりますので、会議録署名人を指定させていただきます。今回は、____委員、____委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

では、資料に基づき議事を進めてまいります。まず、議題の1つ目「市民の運動・スポーツ活動に関するアンケート調査結果」について事務局から説明をお願いします。

【執行機関】議題1について説明

【会長】ありがとうございました。

皆様には先に資料をお送りしましたので、目を通していただいたと思います。今の事務局からの説明につきまして、御意見・御質問等ありますでしょうか。

【____委員】27ページの間26について、グラウンドゴルフ場やスケートボード場、ウォーキングコースの前の数値が入力されていませんが、前回の調査になかったということでしょうか。

【執行機関】 グランドゴルフ場とスケートボード場につきましては、最近整備した施設ですので前回の選択肢の中にありませんでした。

【会長】 これは要するに、これから我々がつくる計画書の参考の部分、全部ではないですがいくつかが大事な部分になります。この中から文書に生かせるものはあるのかなと思います。他にありますか。

【___委員】 市内のプロスポーツクラブというところでの認知度、水戸ホーリーホックに51%入れていただいて大変ありがたいと思っています。我々のクラブでも、支えるスポーツという形でボランティアの募集などをしてはいますが、正直あまり数が多くないのが現状です。スポーツの関わり方でボランティアに対する意識というか、活動をまだまだ行っていない方が多いというところは、一つのスポーツ、媒体としての話し合いをしていく中では、改善をしていくポイントかなと思いました。

我々クラブとしては、ボランティアの人数が増えることは非常にありがたいことですし、できるだけ一緒にチームに関わっていただいてスポーツイベントを作っていくことができると、いろいろな関わり方があるんだなということを知っていただけるのではないかと、データを見て思いました。

【会長】 よく分からないのは、スポーツをする・みる・ささえる機会がないという回答がありますが、機会って何？って考えてみると難しいですね。情報なのか、お誘いなのか、曖昧ですね。アンケートをつくった方も答えた方も曖昧なので、そこが一番難しいですね。

【___委員】 ボランティア活動をしたいと思わない方が77%いらっしゃるの、強制ってわけではないですけど、関わっていただくことで楽しかったとか、こんな関わり方があるんだなと知ってもらうことは必要ではないかと思いました。

【会長】 実際行った人は、分かる人には分かるんですよ。でも行かない人には分からないですよ。だからどうやって分からせるかを考えたいですね。

【___委員】 14. 15 ページを見ると、実際にボランティアとして携わったことがない人が9割いますが、機会があったら活動したいと考えている方が、40～50歳代に3割います。そういう人たちに働きかける広報活動を行って知らせることができれば、この3割の方たちが少しずつ携わっていただけるのかなと思いました。

【会長】 そうですね。計画書の中に、事務局の方で文言を入れていただきたいですね。せっかく調査結果を示したので、図だけを載せるのではなく今話した言葉を入れていただければありがたいです。

【執行機関】 最終的な計画書としましては、こちらのアンケート調査の結果の中から、施策に活かしていけるものを追記しまして、結果や考察なども併せて今後まとめてまいります。

【会長】そうですね、今現在行われている話も含めて、事務局でまとめていただきたいと思っています。

その他、ありますでしょうか。

【___委員】もし男女差で何か顕著な差があったら、世代別間ではまとめてもらっているので、なんとなく全体的に 30 代が多いかなという感じで見たんですけど、男女差がある世代があれば特に力を入れるべき対象者が見つかると思ったので、その辺集計上顕著なところがあれば教えていただきたいです。

【会長】男女差で顕著な差が出たところがありますか。

【執行機関】まだ全部は見えていませんが、実際にこの考察を書くときには、そこら辺を抽出した上で、特出すべきところは書き出すといった方法でまとめていきたいと思っています。

【会長】おそらく子育ての世代でスポーツをする機会がない方は、女性で多くいると思います。若者や高齢者の男女差はどうでしょうか。同じくらいの割合なのでしょう。

【執行機関】問6の「どのようなスポーツをしましたか」について正確な数値ではないですが、集計作業時の感触としましては、女性はヨガやストレッチを結構やっているという回答が多かったのは印象としてあります。

【___委員】このアンケートの年齢層別で、10歳代が18歳～19歳となっていますが、どのようなやり方で実施しているのでしょうか。

【執行機関】もともとは成人以上を対象にスポーツ実施率を調査していましたが、成人の定義が18歳に引き下がったため、18歳と19歳が入ってきたという背景があります。それ以下の児童や生徒につきましては、学校が調査をしていますのでそちらのデータも施策に反映させていこうと考えております。

【会長】10歳代の対象人数は少ないですから、20歳代と同じカテゴリーとして見ていいのではないのでしょうか。

【___委員】こちらのアンケートに、回答者の性別と年代は記述事項にあるのでしょうか。

【執行機関】はい。あります。

【___委員】でしたら、回答者の性別や年代は調べれば分かるということですね。それからもう一つ、7ページの「具体的にどのようなスポーツをしましたか」について、一番回答が多いのは、ウォーキングと散歩になっていますので、それらを体力づくりに繋げられれば良いと思います。

その方法として、踏み台や鉄棒など体力づくりの簡単な遊具を公園に設置して、ウォーキングしながら活用していただくことで体力をつけていただきます。そうすることで、体力がついてきたなど自信が付いてきたら水戸市が開催するイベントの参加につながってくると思います。そのようなウォーキングや散歩をする人を支援するような方法を考えていただきたいと思います。

【会 長】私も同感です。ただ施設をつくるのにはお金がかかるので、その辺の考えは事務局の方で現状を踏まえながら書いていただきたいと思います。

【___委員】そこは、公園緑地課の方の担当になるかと思います。

【会 長】そちらと連携を取りながらやっていただきたいと思います。

【___委員】私の立場で言いますと、シルバーリハビリ体操の指導をしまして、その中の教室、60歳以上がほとんどですが、参加されている方の9割が女性なんですね。男性は何やっているかという、ゴルフに行くくらいの運動しかないですね。そういったウォーキングや散歩はやっているけど、かなり軽度なスポーツになりますよね。無料でできるウォーキングや散歩、筋トレができる公園などの施設があれば、気軽にできると思います。高齢者でも運動できるものを何か入れていただければと思います。

【会 長】男性はなぜそういった人が集まるような場所に行かないのでしょうか。おしゃべりもあまりできないって言いますからね。

【___委員】女性は、中に入ってもおしゃべりをしますが、男性はポツンとしている方が多く見られますね。

【会 長】そういう意味では、男女差があると思いますね。

【___委員】その辺をもう少し、入って来られるようにできればいいなと思っています。最近ニュースポーツが盛んですけど、あれは高齢者も楽しめると思いますので、これから先ニュースポーツについて考えていただけると良いかと思います。今年の市民運動会もにぎわっていたので、そのような形にしたいです。

【会 長】各スポーツ団体との連携という事では、ニュースポーツ関係の団体もありますよね。

【___委員】今おっしゃったニュースポーツですが、シルバーの指導士の会や水戸市のスポーツ推進委員の方でもまた12月にありますけど、色々なところでやってきています。障害者の方も一緒にできますので、皆さん参加していただければ良いと思っています。

【会 長】スポーツ推進員の方はすべての年代層に関わっていますね。

【___委員】そうですね。運動会とか各地区のバレーボールの試合とか野球とか、みんな関わっていますので、いろいろなことを覚えて良い方向に持っていけたらと思います。

【会 長】ぜひ力を発揮できる場を設けたいですね。
他にありますか。

【___委員】10 ページに「スポーツをしなかったのは、どのような理由からですか」という問いがあり、場所や施設がない、指導者がいない、お金がかかる、時間がない、年をとったなどの回答をいただいておりますが、総合型地域スポーツクラブを酒門地区で取り組んでいます。参加者の延べ人数は令和2年度に4,226名、令和3年度はコロナ禍の影響で減りましたが3,333名、昨年度は3,646名が集まりました。一番身近な場所で活動できる総合型地域スポーツクラブは、皆さんが参加しやすいですし、一度体験をしていただいてから、入会することもできます。スポーツクラブは会員制で、年会費を自己負担で御参加いただいております。資料②施策の展開の5ページに総合型地域スポーツクラブの活動支援と記載されていますが、補助金は地域や水戸市からいただいております。参加者の年会費、教室の参加料、それから茨城県の働く世代の参加数が少ないので、参加者を募る企画を出しましょうというのがありまして、その補助金をいただきながら、細々と150名弱の会員が参加しております。ですから、もう少しスポーツクラブを各地区に作っていただいて、育成や活動の支援をいただければと思います。

【会 長】総合型地域スポーツは一つの理想ですね。そこが居場所になるから。第二の家庭というか…。それが生きがいにもなりますし、生活が豊かになりますよね。

【___委員】資料などを持参しましたので、後でお目通しいただければと思います。

【___委員】今お話いただいた内容についての質問をさせていただきたいのですが、総合型地域スポーツクラブでは、筋力トレーニングとかヨガ、ランニングあるいはウォーキングなど、とても活動人数が多いと思いますが、そのような種目の指導は多いのでしょうか。

【___委員】全10種類ありまして、外部指導員とクラブコーチで運営しております。

【___委員】いえ、バドミントンとかバレーボールとか、いろいろな種目が地域スポーツクラブで出されていると思うんですね。多い種目とか少ない種目というのは、偏りがあるのではないかと思います。一般市民の中では一番人気であろう筋力トレーニングやウォーキングとかの指導は、スポーツクラブで数としてはされているのか、それともバレーボールとかバスケットボールとか、そういった種目数の方が多いのかをお聞きしたかったんですけど。

【___委員】確認させていただきたいのですが、多い種目とはどういったものを指すのでしょうか。

【___委員】不勉強なもので、イメージでバレーボールやバスケットボールが多いのかなと思っ

たのですが、その地域スポーツクラブで、ウォーキングとか、ある程度習えば自分でできるようになる種目が開講されていれば、結構人気になるのではないかと思ったんですね。そのような種目の展開はされているのか。もしされていれば、結構数が多いのかが知りたかったものですから。

【___委員】数とおっしゃるのは、参加者の数のことですか。

【___委員】いえ、総合型スポーツクラブは県内でいくつかあるかと思いますが、ウォーキングを開講しているクラブが何か所あるのか、各クラブの種目の偏りがあれば、お聞きしたいのですが、もしデータがあれば教えていただきたいです。

【___委員】全県的なところについては分かりませんが、参考に酒門いきいきスポーツクラブの案内をお配りいたします。

(資料配布)

【___委員】総合型スポーツクラブの話が出たので・・・。

私はドイツに暮らしていた事があって、大学でも総合型スポーツクラブを学んだりして、いろいろな視点で見てきたんですけど、ドイツには学校に体育の授業があまりありません。体育の授業は、地域のスポーツクラブに行ってグラウンドを借りてやっている。体育の授業もサッカーを1か月やります、バスケットボールを1か月やりますという事ではなく、一度見せれば少なくともやったという事になる。あとは先生の裁量で、サッカーを多めにやりますとか、陸上を多めにやりますくらいで、学校の体育の授業はそれで終わりなんですね。あとはこどもたちが、学校が終わった後に自主的にクラブに通ってスポーツをしています。

今ドイツの人口は約8000万人なんですけど、スポーツクラブはトータルで9万ありまして、そのうち2万5千の施設がサッカークラブいわゆるサッカーのグラウンドを持っている施設になっています。20年ほど前に私が勉強した時は、総合型地域スポーツクラブがたくさんありました。実際に行ってみて分かったことは、多目的クラブがたくさんあるという意識です。9万のスポーツクラブのうち、テニスコートがたくさんあるようなクラブもあれば、体育館があるクラブもあり、地域によってバラバラでした。

ドイツのクラブの数は、日本における学区の数にほぼ相当しています。なぜ、たくさんのクラブがあるかという、それぞれの方の生活圏内にスポーツクラブがあるという形を作っているからです。日本に置き換えると、小学校の学区、つまり歩いて通える距離に小学校があるという認識です。日本の学校には、体育館や校庭、音楽室、図工室などがそろっているので、ドイツからは日本の小学校は、総合型のスポーツ・文化施設がすべて整っていますと見られています。

そのように考えると小学校の学区がキーワードであり、いかに小学校の施設開放などを活用できるかが大事だと思います。男性が行きにくいといった問題も、母校に行くことによって顔見知りの人が見つかりやすいため、ハードルが下がるのではないかなと思います。水戸市の学校開放であったりとか、学校単位でのいわゆる課外活動的なものが、具体的にどのように行っているのか、全然分からない中で発言をしているんですけど、小学校または中学校の部活動や、開放地域の開放とか、そういったところでボランティアに関わっていくとか、そうすることで昔剣道をや

っていたから教えようとか。一緒に地域の人が入っていくようなことが水戸市の中で考えられると、どこの地域でもできるのではないかなと思いました。

【会 長】日本とは歴史が違うけれど、これから部活が地域移行する時に学校施設を利用しなさいというお話が出てくると思うんですよ。これは大事なことですな。

【___委員】人的資源をそのようなところに分配するのは、必要だと思います。一つインフラ持ってそこで活動するのはもちろんハブになると思うんですけど、指導をする方が、地域の小学校、地域の皆さんのための活動をしていただくことで、そこがハブになって指導者を派遣してくれたりとか、考え方を共有してくれるとか・・・。

例えば、先ほどの公園に何かあったら良いよねっていうのも、私はおそらく、皆さんがなぜウォーキングをするのかというと、健康のためかと。その健康のバロメーターは、なんとなくすつきりしたとか、定性的なものになっているのではないかと思います、それを血圧や体重を測定して、運動後の数字を見せた方が、やったことに意味があったと思ってもらえますし、継続する方が増えますので、そのような考え方を展開するとハードルが下がって、運動をする方が増えるのではないのでしょうか。

【会 長】学校に信頼する方が来て、教えるという事であれば、先生方だって安心できると思います。すごく大事なことですな。

すいません。時間が無くなってしまうので・・・。

これは、調査の結果をどう評価するという話なのです。次が本題で、中身の部分に行きましょう。調査の結果を、施策にどのように位置付けるかという問題なので、次に行ってもよろしいでしょうか。

では、水戸市スポーツ推進計画についての議題に入ります。事務局の方で、説明をお願いします。

【執行機関】議題2について説明

【会 長】これ、市では無くて担当課は入れてもいいんじゃないの。

【執行機関】そこは、市としての個別計画の考え方がございますので、はい。

【会 長】ちょっと考えてみてください。市民にとってもその方が良いと思いますよ。

【執行機関】御意見をいただきましたので、計画をまとめるセクションに相談いたします。

(引き続き、基本方針1の部分までを説明)

【会 長】ありがとうございます。今の説明は、大雑把にまとめてもらいましたが、皆さまには、事前に資料に目を通していただいているという前提で、私からお願いしました。

これから、基本方針1生涯スポーツ活動の推進について、実際の計画の中身に入っていきたい

と思います。どうぞ忌憚のない御意見，何でも結構でございますのでお願いいたします。

【___委員】ちょっと先ほどの話で申し訳ありませんが，週に1回以上の運動をすることについて，国の目標は7割でしたっけ，それに対して水戸は先ほどの結果で4割，その差を埋めるために施策があるということかと思うのです。

アンケート結果を踏まえた分析として，全国平均は5割を超えていたと思うので，水戸はこれよりも低いので，このことを課題として出してはどうかと思います。

この課題の解消を目指すために，生涯スポーツ活動を推進していくということであれば，実施率を増やすために，こういった様々な施策が繋がるかと思います。

【会 長】その辺りの文章は，今後加わるのでしょうか。

全国平均がどうだったとか，前回との比較ということで経時的な変化というか，前回が何%で今回が何%で，これからは何%を目指すんだということを書いていくのだと思います。

【___委員】傾向に変化なしという捉え方をしているとおっしゃってたので，項目の方で検討しますよというお話を聞いたんですが，確かに全体の調査からの変化は大きくはないんだけど，計画を作るに当たって，全国の平均値であるとか，スポーツ庁の目標値との差とかを取り上げると良いと思います。

【執行機関】はい。国の運動実施率の目標が70%というのは確かにその通りでございまして，今回の水戸市の個別計画の目標値として，それを採用するかどうか。

または，水戸市として独自の手が届きそうな数字を目標にするかというのは，現計画でも10個の目標を定めましたので，今回も前回と同じ目標を引き続き設定するのか，別なものにしていくかっていうのは，今後検討して行こうと思ってます。

ちなみに国の方も7割を掲げておりますが，令和4年に実施した調査では，前年度からは数値が下がってまして，52.3%とのことでした。

そこで，手が届きそうな目標を据えた方が，皆さんが頑張れるのか，それとも，ここはこうしなきゃ駄目なんだっていう高いレベルの目標があった方が，皆さんの取組が進むのかというのは，この場でお聞きしたいというところもあります，最終的に判断して，水戸市としての目標を設定して参りたいと考えております。

【___委員】2015年度の国のデータを見たところ，だいたい40%台ですね。そのあと上昇傾向で行ってたのですがコロナで落ちまして，現在は事務局からもあったとおり，52%となっております。

水戸市は，前回の2015年の時も41%で今回の調査も40%ぐらいということで，40から50に上がっている全国的な状況を考え，まずはこれを目標として，全国平均を上回ることを目指すとありますと，それに向かって動き出せると思いますので，意見させていただきました。

【会 長】少しでも現状を改善するということで，目標の設定を御検討いただければと思います。

【執行機関】はい、そうですね。

まずは全国平均を目指すというのも、一つの達成できそうな目標というところで、皆さんに受け取ってもらえると思いますので、御意見を踏まえながら次回の会議では、お示しできるようにしていきたい。参考にさせていただきます。

【___委員】まずどうありたいかという姿を定めないと目標値は定められない。例えば、水戸市はスポーツが盛んな市になりたいのか。または、スポーツを皆がしているまちを目指しているのか。当然、水戸市全体として考えなくちゃいけないので、その根拠なのかポジショニングなのかはセグメント分けして考える必要はあるのですが、何のためにやるのか。目的がきちっと明確になった上で目標値を定めるのが正しい考え方だと思います。

その上で、具体的にどういった手段をとっていくのかは、いくつか資料に細かく分かれていたと思うんですけども、こういうことをやるとこうなるはずっていうような、やる人任せとか・・・。少し気になるのは、アンケート結果を拝見させていただきましたけども、あくまでもこれは、回答者の主観でお答えいただいているものだと思います。

つまり、極端な話、通勤で30分歩いています。それを運動というのかどうかとか、その辺も、そう思ってる方は30分の運動でしょうし、それを運動と捉えていない人は、運動してないですって言うでしょうし、答えてる方の主観だと思うので。ただ、これ以上のものは出てこない。それなので、少し申し上げましたが、スポーツを盛んにしたいんだとか、それを健康として皆に意識してもらいたいのであれば、数値化していくとか、それをどうすると皆が、簡単に数値として選べるのかどうか。そういうことを考えた方がいいんじゃないかなと。ちょっと今、施策の話に落ちましたが、そもそもどういう姿を目指しているという目的が分からないまま、セグメント分けしてここではこれをやります。そういった時に正しいのかどうか。それによって出てくる数値っていうのは、結果がどうジャッジするのかなど。結局、アンケート結果でみんな何となく運動した気になってるとか。そうなってしまわないかっていうのが、うかがって非常に気になります。

【会 長】国がやっている調査でさえ、カッチリしてないんですよ。水戸市の最初の計画書を我々が策定した時のアンケートの調査項目は、国と全部同じなのです。

国でさえあやふやなのに、国は10%、20%とどんどん項目毎に出しているんですよ。国の悪口言う訳じゃ無いけれど、やっぱり、今おっしゃったように、その地域は地域で水戸市の持っている財産、水戸市が持っている力、これをフルに生かして、どういう方向で持って行くのかということなんです。

それで、ちなみに参考までに調査したら、このような結果が出たぐらいの重みで考えても良いんじゃないかと私は思います。

【___委員】おっしゃる通り、このデータが国の方を参考にしている、この数字を伸ばしたいのであれば、この数字を回すための施策をするべきだと。数字を伸ばしたいならですが。

それは、市民の皆さんが、明らかにそう思っただけであればいい訳で、それに向けた施策を打つべきだと思います。目標設定を何%にしよう、そのためにはどういうことをやろうっていう、そういう考え方をしないと。バラバラでいくとこれをやるとこうなるんじゃないかだと、すごく

人任せだと思います。

それが分かってくると、案内をきちんとしなくちゃいけないよね。こどもたち向けだったら、幼稚園とか小学校の辺りでしっかり案内をしましょう。イベントを何回やりましょう、何人参加しました。そこでアンケートを取りましょうとか。

スポーツクラブを巻き込むんだったら、市と一緒にこういうことをやりましょう、枠をしっかり作りましょう。そのプロモーションはホームページなのかどこなのか。そういう施策を、どこできちんとアナウンスするのか。実際に参加した人がどれぐらいいる。

その人たちが最終的に何%という数字に出てきた時に、正しかった正しくなかったっていうのを、振り返る必要があるんじゃないかと思います。

【会長】数字にこだわるならそうですね。ただね、数字に出ない、そういう意識改革もあるんです。例えば、市民運動場で散歩したり、親子で草の上で遊んだり、それは数字に出ないんですよ。このアンケートにも答えていないでしょう。そこがまさに重要なんです。だから数字には出ないけれど、大事な部分はある。それを、この計画の中には射程に入れた計画を立てる。そういう数字に囚われない、これは私の意見ですよ。きちっと数字で捉えられないと私は思います。

【___委員】トータルの水戸市として目指す姿を、全国ではこう言っているけども、我々はこれを目指すのだ。その仮説において、こういうことをやっていくことで、数字には表れないけれど、週末が楽しくなるとか、アフターファイブが楽しくなるとか。そのための環境を用意したことがすごく重要になると思うので、それはハードなのか、コースを準備するのか、案内をきちんとするとかのその他の部分なのか、少なくともその数を準備するとか。そこは、数字で表せると思います。

実際に参加した人たちがどう思ったかっていうのは、もしかしたら指導員の振る舞い方とかが関わってくると思いますし、数字はなかなか出てこないかもしれないんですけども、そういうことはやはり、市の税金を使ってやっていくのであれば、ある程度は数字を出していくのは必要になるかなと。

日頃から、そういったことを考えなくてはいけない立場でやっているもので・・・。

【会長】おっしゃることが本質的なんで、非常に私たちの勉強になります。良い議論ですよ。計画を練るのは、私たちのこの場所しかないんです。

ちなみに正直に言ってしまうと、水戸市にお金は無いですよ。施設に関しても、これは今後5年の計画でしょ。これにお金を出せるか、という話です。

【___委員】そうなる、今までやってることを改めてきちんと見直す必要があると思います。例えば、小学校に対してどのような案内をしてきたか。今まで通りやっていたら変わらない。それをきちっと振り返っているかが問題だと思います。

どういうことをこどもたちに提供すると、5年後にどうなって行くのかという仮説を立て、仮説の整合性を、完成度を高くするかを、ここにいる皆さんでなのか、水戸市全体でかもしれないけれども、仮説の正確性を上げる努力をすることが大事なかなと思います。

時代が変わってきているので、スポーツの捉え方にしても他がどう考えているかを水戸市がど

うするか、ということをおこの場で考える必要性があると思います。

【会長】仮説として施策を考えるということですか。それは大事かもしれませんね。その際に、今までやってこられた黄門まつりの大会や黄門マラソンにおいても、これまで努力を重ねてきましたが、更に努力するに当たっては、このような考えも入れてもらえればと思います。

【委員】5ページのコラムの下に、総合型地域スポーツクラブの1項目の文章があるのですが、先ほど委員がおっしゃったように、総合型は、もともと文科省の働きかけによるもので、いま学校の施設を活用するという御提案がありましたので、総合型地域スポーツクラブの育成のところ、「各中学校区に1クラブの育成に努める」と入れていただきましたら、学校施設もフル活用してクラブが増えると思うのです。

水戸市には総合型スポーツクラブは3つしかなく、ここ数年で、パシオスアスレチッククラブとホーリーホックさんができましたが、それまでは12年間酒門いきいきスポーツクラブ1つしかありませんでしたので、なぜ増えなかったかと申しますと、身近なところに参加できる場所がなかったためです。各中学校に1クラブは、もともとの文科省が目指しておりましたが、うまく行かなかったのは、施設がないということでした。

酒門いきいきは、地域にコミュニティセンターがあったので、体育館が使えたり恵まれており、継続して活動できています。

この5ページの中段のところ、各中学校区に1クラブの設立育成、活動支援に努めるとしていただけると有り難いと思います。

【会長】いかがですか。そういう文言を入れてくださいとのことですが。

【執行機関】御意見として受けておきます。実情としては、学校を開放するというのは、皆さんが思ってる以上に難しいところがございます。ですので、そういった形で学校を開放していくとなりますと、関係課と相談して判断したいと思います。

【委員】学校に勤務しているもので……。平成16年度に始まって、私も担当者として鹿嶋市に派遣されて、総合型の立ち上げに関わるようになったのですが、その頃から中学校区に一つが目標でしたが、中学校は部活動で使っていたので、中学校区でスポーツ施設を押さえることはできませんでした。

鹿嶋市は、地域の体育館を一つスポーツクラブにもらったので、大きなNPOとして活動してまずけど、そういう特別な地域以外は難しいと思います。

先ほど御意見がありましたとおり、小学校区ぐらいで目指した方が現実的だと思いますが、小学校の方はどうかと申しますと、新荘小も空いてる時間が全くない。ロボッツさんからは、練習会場さえ提供してくればバスケの指導をできますと言われたので探したのですが、夜間開放で全部埋まっていました。貸し出せるような余裕は無いです。事務局が言う通り、現実的には難しいと思います。

また、新荘はサッカークラブが強くて、教育委員会に芝生のグラウンドを要求しようと考え、お金がないので、サッカー協会がやってるグリーンプロジェクトに申し込み、自前で芝生を張る

うとしたのですが、お願いしたらバツになりました。

ですから、スポーツの振興計画に何か唱ってもらって、教育委員会管轄では一つの学校だけ芝生にするとか、あの学校だけ貸し出すとか、そういうのは公共性に反する難しさがあって苦労しているので、何か施策が学校施設開放に関してできると良いと思います。

【___委員】夜間開放の方も担当しているのですが、夜間開放運営委員という者がいまして、施設毎に話し合って活動しているのですが、年間で全部の曜日の活動計画が決まっているので、やはりちょっと他のクラブを作るのは難しいかなと思います。

けっこう地域のお父さん、お母さんが出てきて活動をしています。例えば、小学校で行事がある時などは、使えないという連絡もしながら空いている時間を使っておりますので、今からそこに行くというのは…。クラブが無ければ入れるでしょうけど。

【___委員】はい。ただいまの御意見で、総合型っていうのは、多種目多世代ということですので、運営されている団体さんは、全部を一つのプログラムとして、それぞれのメニューの教室みたいに考えて、例えば浜田の地区として、バトミントンは何曜日、バレーボールは何曜日とプログラムを組んで、その時間に集まった皆で自主運営することもできます。大きなとりまとめを総合型が受け持って、一つ一つの団体さんが活動するのではなく、全体で総合型のクラブとして学校をフル活用するという使い方も一つの開放になるのではと思います。

【会 長】学校施設を利用する人たちが共同体をつくるということですか。総合型地域スポーツクラブにまで行くのは難しい、マネージャーが必要ですね。しかし、総合型的な共同体を作ってやっていくという考え方は、これから部活動の話も出てきますから、大事な話です。

【___委員】中学校はいっぱいでしょうから小学校をフル活用する。地域の人たちとの共同で一つのクラブとして、地域で運営していくという形が望ましいと思います。

【___委員】最初の押さえどころとして、地域スポーツを振興する計画だったら、思い切ってここにスポーツクラブの設立に力を入れて、地域のスポーツを振興に集中していくことも良いと思うのですが、スポーツ選手を育成して、著名な選手を輩出させようということを目指すなら、もうちょっとクラブチームを応援したほうが良いと思いますし、いや、健康づくりで週1回以上運動する人を増やして、高齢者がいつまでも元気で活躍できる健康的なまちづくりを目指すなら、それは週1回できるウォーキングコースだったりトレーニングジムだったりを設備していった方がいい話になっていくので、目指すところは何かを押さえないと。それが良いのか悪いのかなか判断ができない。

悪いことじゃないから全部やったほうが良いでしょうが、限られた予算で全部はできないし、今ある課題も色々出てきたようですので、部分的にはできると思いますけど、どこに力を入れるかは押さえておかないといけないと思います。

【___委員】小学校別でたくさん活動されているのなら、そこにわざわざ総合型スポーツクラブが、何とかして入り込む必要はない。

逆に、本当にその全部の小学校がちゃんと使えているのか、使えていないところにサービスとして行かれるのが自然の流れかと思います。

あくまで理想の話ですけれども、学校開放は民間に委ねられるようになれば、施設の改善も民間のお金でできるのですが、現実的には難しいので、地域の皆さんが登録すれば無料で使っているのであれば、それはインフラを活用できているという状況だと思いますので、いわゆる地域の皆さんの健康促進をする環境ということで、地域にあるスポーツ施設は活用されているっていうふうに認識すべきかなと。

逆に言うと、そういうことをやってますよというのを、水戸市がきちんとアナウンスする。どここの地域はこんなことをやっていて素晴らしいと言ってあげるだけで、その地域の皆さんが知らなかったりしたものが、じゃあ利用しようってなる。

無理やりそれを全部一つにしなくてもいいんじゃないか思いますし、学校がだめなら例えば幼稚園とかは空いてるのかもしれないですし、法律的に難しいかもしれませんが。

また、おっしゃる通り、これが目的が何なのか。競技者のレベルを上げようっていうのであれば、ちょっと話は違いますけれども、生涯スポーツが主体となれば、その考え方の方が自然かなと思います。

【会 長】大事なところですよ。この計画は、スポーツの計画じゃないですか。生涯スポーツにも力を入れているし、競技スポーツにも力を入れている。それなので、どっちに力を入れろとは言えないでしょう。

【___委員】そうですね。どちらかを捨てるとは言えない。

【___委員】はい。そうですね。それぞれに基本方針1と2とで生涯スポーツ、競技スポーツと分かれておりますので、先生がおっしゃるように、水戸市の方々がそれぞれ健康維持をして、スポーツを見る、参加する、そして競技スポーツで秀でている者を応援する。どれも大事なことで、これに特化してというよりそれぞれの柱を大事にして行けば良いと思います。

【会 長】青少年のスポーツの問題が出てきましたが、行政の壁をいかに崩していくかという話が出てくると思いますが、私たちも議論しましたとおり、両方ともできるような施策にしないとけない。本当に難しい仕事だと思います。

【___委員】9ページの文章の書き出しで身体障害者とありますが、茨城県の推進協議会で提供された資料では、全国障害者スポーツ大会という表現になってますので、身体障害者じゃなくて、障害者スポーツがよろしいかと思います。

もう一つは、この方たちにどういったプログラム、活動機会を提供できるかが重要だと思います。県の推進協議会では、「スポーツ施設の積極的な開放が期待される」とありますので、施設を使いやすいようにしていただければと思います。

【会 長】正にそうだと思いますね。了解でよろしいですか。

【執行機関】 ここの表現としては「身体」に限定した表現ではない方がよろしいと思います。

【会長】 障がい者スポーツの中の今後の方向性として、パラスポーツというのがあるんですよ。いわゆるユニバーサルスポーツというか、健常者も一緒にやりましょうという考えです。これもコラムかなんかで入れておいてもらえると良いと思います。

【委員】 具体的な施策の話なのですが、ドイツのバルシューレという考え方で、幼稚園児か小学生の低学年にボール遊びをさせて、大きさの違う色々なボールを使って身体活動をさせるというのがあって、楽しみながらスポーツに触れる。その中で、ボールを投げるのが好きな子は野球をやるとか、ボールを蹴るのが好きな子はサッカーをやるとか。これは、スポーツをやりましょうという前に入れていくと良いのではないかという話がありますので、水戸市で導入していくことでスポーツの入り口を広げていく、サッカー教室やバスケット教室の前にそういった考え方を取り入れるという提案です。

もう一つはライフキネティックという脳トレです。これも昔から確立された考え方、もともとは、スキーの大回転の反射神経のトレーニングなのですが、こどもの脳の発育や高齢者のぼけ防止で導入され確立しているものがあります。

例えば、これを水戸市で入れていくなんていう提案です。色々な方に、楽しみながらレクリエーションしながら、こどもの脳の発育や、スポーツ選手の能力を上げる、高齢者ぼけ防止とか、いわゆる、神経の伝達を刺激するトレーニング、こんなものを入れていく考え方もあっても良いのかと思います。

【会長】 こういった遊びの中にある運動というのは非常に大事ですね。

【委員】 水戸市内の幼稚園や保育園には、ホーリーホックとロボッツが年に2回遊びに来てくれて子どもたちとゲームをしてくれる。そうすると、テレビでしか見たことが無かったサッカーとかに直接触れ合えることで、子どもたちに興味が出てくるのです。

それから、試合会場にも是非来てくださいということで、無料の試合チケットをもらえることもあるので、とても良いことだと思います。できれば3回4回と来ていただくと良いなと思っています。これは施設の数が多いので難しいのかもしれないけれど、この取組は非常に良い取組だと思っています。

【会長】 身体を動かす遊びは、脳の発育にもとても良いのです。

【委員】 バルシューレの話が出たのですが、大学の研究の中でも、サッカーに携わっている人がボールを使った遊びの研究をしております、サッカーだけでなくいろいろなスポーツに携わっている方々がいるので、ボールを使った運動というか遊び、ラケットを使った遊び、こういった類型があるか分かりませんが、いろいろ区分けの遊びがあるので、そういったできるだけ多くの遊びに触れたこどもは、運動・スポーツは楽しいということになると思うのです。やはり、先ほどのスポーツ参加率が低いとかも、結局は楽しいかどうかだと思うのです。

楽しいだろうと思っても始められない人もいると思うので、まずこどもの教育で運動を好きに

なる、楽しいと感じるような環境づくりがまず最初だと思うのです。まずは入り口を広げて、スポーツを遊びというところまでレベルを下げて、楽しみながら広げていくような取組を、市としてなのか分からないけど、進められると・・・。

【会長】市の方に急にやれと言ってもそれは難しい。コラムの中に概念として新しい考えがあると入れたらどうですか。バルシューレは、私も初めて聞きました。

だからこれをいきなり実践という訳にはいかないでしょう。遊びの中で、そういうのは是非入れてください。

【執行機関】まずそういったことも勉強して、計画に載せていくっていうのも一考かと思いますので、貴重な御意見として承ります。

【___委員】___委員がおっしゃったように、小さいうちにプロスポーツ選手の機敏な動きや身体を見せるというのは、こどもたちが一番見て「おおっと」感じる貴重なスポーツとの出会いかと思しますので、事業主体は子育て支援課やこども政策課だけでなく、スポーツ課にも加わっていただいて、プロスポーツ選手との交流体験事業というものを多く入れてもらえると良いと思います。

【会長】今の事業にもあるんじゃないでしょうか。

【執行機関】現状の記載箇所ですと2ページの、○の二つ目の、表中の3つめに両クラブによるスポーツ教室を記載しております。

【会長】いや、そこじゃなくてね。今のは遊びのスポーツ。1ページ目の、3つめの○のところに入れた方がいいです。

【執行機関】はい。両方に記載するとか。

【会長】重ねて表記しても良いでしょう。そうしてください。

【___委員】7ページの伝統スポーツ、これをぜひ存続させていけると良いですね。下にコラムがあるように、水戸藩主の斉昭の弘道館設立に当たっての良さがあるんですが、これを何かやっているのは国田小学校だけなんです。

こどもから高齢者まで生涯やっていけるスポーツなので、是非、伝統スポーツ、水戸ならではのスポーツを存続させていただきたい。

武道は身体をつくるのはもちろんですが、精神を鍛えてくれますので、伝統スポーツについてPRしていただいて、スポーツ少年団などが盛んになるように、これからもお願いいたします。

【会長】伝統スポーツは、水戸らしさでもあります。みとっぽですね。水戸の文化、水戸の教育の、伝統的な宝ですね。そういう意味では、私は、これをまちづくりの方に入れても良いか

と思っています。常磐小でも文武両道でやっております。それは大事なことです。

私は、水戸市の重要なまちづくりとしてこちらに載せた方が良いと思う。

【___委員】 よろしく願いいたします。

【会 長】その他に、これは私からなのですが、7ページの基本施策4の、全ての年齢に共通したスポーツ活動の推進は、ちょっと分かりづらいんで、全てのライフステージを含むとすると分かると思います。そうすると、この前の施策の1から3はライフステージを表現していますから、施策の4は、全体を含むとまとめることができる。

そうすると、このなかに入る項目はやっぱり、スポーツ推進委員の果たす役割が大きいので、ここに置くべきです。総合型も、ここに入れるべきだと思います。スポーツ振興協会でやってる様々な事業も、大変素晴らしいと思っていますが、ここが良いと思います。

もう一つ、こどものスポーツ活動をまとめてしまっているから、基本施策1は、こどもの運動・遊びの推進と、基本施策の2として、青少年のスポーツ活動の推進と入れた方がよい。遊びの話とスポーツの話を区切って、ここにはスポーツ少年団のプログラムや部活動の話も入れるとよい。次が成人や高齢者が続いて、その次の基本施策5として、全てのライフステージで整理できます。

【執行機関】 参考にいたします。

【会 長】 そのほうがすっきりしますよ。中身は変わらない。

その他に何かございますか。ここまでが、基本方針1の生涯スポーツの推進です。そろそろ次行きますか。

それでは、基本方針2の説明をお願いします。

【執行機関】 議題2の基本方針2を説明

【会 長】 今の御説明の範囲において、皆さんどうぞ自由に御意見ををお願いします。

10ページに、プレースポーツみと、Fun!Fan!スポーツフェスタの開催と記載されていますが、これは競技に入りますか。

【執行機関】 例えばプレースポーツみとは、選手によるスポーツ教室ですとか、そういったものを目玉にしていたので、基本方針1生涯スポーツ活動の推進にも載せましたが、こちらにも載せました。

【会 長】 その場合は括弧をつけて、その旨を記載していただくと良いと思います。

【___委員】 国際・全国規模の競技会やスポーツイベントなどの誘致というのは、例えば外国のチームを招待するとか、そういう予算がつくという事ですか。

【執行機関】 具体的に誘致する大会がないと、予算はつきにくいですね。

【___委員】つまりこれは、具体的にどういうことをしてらっしゃるのですか。

【執行機関】過去にですが、バスケットボール女子の日本代表がちょうどオリンピックで来るベルギーのチームと強化試合を行ったことがあるので、そのようなことを想定しています。毎年コンスタントに予算をつけているわけではなくて、そういった場合何年か前から話が来て調整が始まるので、その段階で予算をつけるという形です。ただ今後の予定としては、今のところ何もありません。

【会 長】今の詳細についても、書いた方が良くないのでしょうか。

【___委員】ケーズデンキスタジアムで行われていた水戸国際陸上競技大会のような大会は今ありますか。

【執行機関】水戸招待陸上という形ではありますが、日本陸連の考え方がグレード分けして整理されたので、昔のような国際大会ではないです。

【___委員】記載があるんだったらやってほしいと思いますし、予算的に無理ということであれば記載しなくて良いと思います。

【会 長】書ける範囲内で詳しく書いてほしいですね。

基本施策2のスポーツ施設のことが、13ページから15ページまで記載されていますが、施設は競技スポーツだけでなく、生涯スポーツやまちづくりにも関連しているはずですが、でも、スポーツ施設のことに関しては競技スポーツの方で取り上げられています。この点について皆さんどうですか。

参考資料として、水戸市のスポーツ施設が最後にありますね。水戸市のスポーツ施設を、緑地は緑にしたり、水戸黄門のコースは黄色にしたり、そういったカラーで表現すると素晴らしいと思います。これだけ大きな市でこれだけたくさん施設があるので、表現しない手はないですよ。特に市民運動場は各地区に茶色で表現してほしいですが、そうすると大事な生涯スポーツになると思いました。

【___委員】水戸市のスポーツ施設はWEBで検索して、この時間が空いているのを見て申請ができますが、そういった働きをしていくことで、こういうところも使えるの、というような御案内になるかと思えます。

【会 長】施設の情報提供ということで、今のお話も入れていただけるとありがたいですよ。

【___委員】体育施設はこのような方法で貸し出ししていますというような案内があると良いかと。例えばアダストリアみとアリーナの会議室や体育館なども一般の方が借りることもできますので、申請はこちらへなどの案内がコラムの中などにあると良いのかなと思います。

【会 長】例えば、コラムの公共のスポーツ施設の中にもう少し詳しく、予約はこちらなどの情報を入れると良いかもしれないですね。同じように総合型についてももう少し詳しく、「お問い合わせはこちら」くらいまで書いても良いかなと思います。パシオアスレチッククラブも、ホーリーホック IBARAKI クラブも素晴らしいので、もう少し詳しく書いて良いと思います。

14 ページの、中段の主な取組にある新たなアクティブスポーツ施設とは、具体的にどのようなものですか。

【執行機関】イメージとしましては、東京オリンピックの時に若者が街中でスケートボードをしていたように、これまでになかった新たな種目のスポーツをできるようにしてほしいという要望が出ています。

【会 長】スケートボードができる施設ができたという話を聞きましたが。

【執行機関】そこについては、青柳公園にできました。

【会 長】それを具体的に書いた方がよいと思うんですね。

【___委員】その上の屋内プールと武道館については、何か案はありますか。

【執行機関】まだ情報上がっているだけで具体的になっていないので、検討とさせていただいております。

【___委員】新たなアクティブスポーツということで、ボルダリングの施設を入れていただけると、小さい頃から登ることで脳トレにもなりますので良いかと思います。

【会 長】市内にボルダリングの施設はありますか。

【執行機関】有賀町に、確かあったと思います。

【___委員】河和田町に一か所ありますね。

【会 長】ということで、付け加えていただくとありがたいですね。

【執行機関】スケートボード場については出来上がっているので、今おっしゃったボルダリングを含む今どきのスポーツを新たな視点として、整備していくか検討していきます。

【会 長】それでは、次に行きたいと思います。基本方針3 スポーツを生かしたまちづくりの推進ということで、事務局から説明をお願いします。

【執行機関】議題2の基本方針3を説明

【会 長】これについても、皆さんからの御意見をお願い致します。

【___委員】まず水戸ホーリーホックとして、今御紹介いただきましたように、茨城ロボッツさんと水戸市さん、3つの団体で、MITO BLUE PRIDE という活動をさせていただいております。これに関して、事務局にもいろいろと御提案させていただいて、できるだけまちを青くする取組をしないと、良い事をしていても認知されませんとお話をさせていただいて、水戸駅を中心にプロモーションを活性化しようという方向で動いています。

その中で先日、北口と南口の管轄が違うとのお話を伺って、北口が都市計画課、南口が道路管理課で分かれていると。南口の方は道路管理課なので、まちの景観という点では厳しくないとお話だったので、南口のペDESTリアンデッキを青くしていくことができると良いのではというお話をした経緯がございます。

いずれにしても、水戸市のまちのカラーが青である、水戸ホーリーホックや茨城ロボッツで南口からスポーツを推奨している絵を作っていくのが良いのではないかと思っているのですが、ぜひ提案させていただきたいと思っています。

水戸黄門漫遊マラソンの話で、初の完走者1万人越えということで大変素晴らしいなと思います。茨城県は今年も魅力度ランキング47位でしたが、これってカラクリがあって、全国の皆さんに対して「どこに一度行きたいか」という指標になっていて、当然割合で言うと東京の方が多いので、茨城などの北関東は行けてしまう距離にあるため順位が下がっています。

一方で水戸黄門漫遊マラソンの数字が伸びているポイントとして、日帰りで来れるからだと思います。なので、東京から日帰りで来れる距離であることを逆手にとったプロモーションとか・・・例えばロボッツさんもホーリーホックもそうですが、日帰りで行けるのだからプロモーションの範囲を広げるとか。今回茨城のキャンペーンなんかも常磐線の沿線できちんとプロモーションしていて、東京駅ですら出ているんですね。茨城って日帰りで行ける、特急使ったら1時間半くらいで行けるとい事が意外と皆さん認知していないので、そういうものを巻き込めると良い。今回水戸黄門漫遊マラソンの数字が増えたというのは、おそらくそういう要因もあるんじゃないかなと思います。

ホテルに宿泊する方も限界があるので、地方の都市のマラソンは、そういう問題が必ずあると思うんですけど、日帰りで来れる距離間だからこそマラソンというものがあると思うので、そういう方たちを巻き込んだプロモーションを考えていくと良いというのと、降り立った水戸駅が出た瞬間にパッと青くなっているとか、スポーツクラブがあるとか、そういったプロモーションの仕方を作れると良いのではないかなと思う次第です。

【会 長】水戸市のカラーが青ですからね。

水戸黄門まつりというイベントがありますよね。あれはどのような位置付けですか。

【執行機関】市の中では、観光課が音頭を取って開催しています。

【会 長】野球などの水戸黄門まつりの名前を使用したスポーツ行事がありますよね。黄門まつりと謳って、中身はスポーツ大会というものがありますよね。

【執行機関】実情としては、水戸黄門まつりを盛り上げたいのでスポーツ大会の冠に、水戸黄門まつりをつけてほしいと、黄門まつりの方からお願いされた経緯があります。

【会長】それも一つのアイデアですよ。

【___委員】別のお話ですが、基本施策③に全国大会等の誘致・開催支援とありますが、10ページには国際・全国規模の競技会やスポーツイベントなどの誘致と記載されていますので、国際を入れるのであれば、基本施策3にも国際とつけた方が良いのではないのでしょうか。

【執行機関】検討させていただきます。

【会長】黄門まつりで野球やってるんだったら、水戸に飛田穂洲という方がいたでしょ。あの方は日本のスポーツの源流ですよ。こんな素晴らしい人はいないです。あの時代だから武士道野球とか堅苦しいけど、あんな素晴らしい人いない、水戸の宝だよ。是非、水戸の宝を入れてほしいですね。

【執行機関】関係している課に相談してみます。そうすると偉人がいっぱい出てきそうな感じがしますので・・・。

【___委員】10ページのコラムに水戸が聖地の全国大会とありますので、そこに加えることができると思います。

【執行機関】全国じゃない大会で記載すれば、飛田穂洲も入ると思います。

【会長】私が言いたいのは、飛田穂洲を入れてくださいという事です。
その他ありますか。

【___委員】一番後ろに目次が付いていますが、実際の報告書を作成する際にも一番後ろに目次が付くのでしょうか。

【会長】いえ、目次がないと皆さんお分かりにならないと思ったので、事務局に相談して急遽つけていただきました。

その他ありますか。

とてもざっくばらんで深い、具体的な話し合いになりました。ありがとうございました。
それでは、司会を事務局にお返しします。

【執行機関】大変貴重な御意見や御提案をいただき、ありがとうございました。本日いただきましたご意見等を踏まえ、今後とも水戸市スポーツ推進計画の策定を進めてまいりたいと存じますので、引き続き御支援御協力のほどよろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和5年度第2回水戸市スポーツ推進審議会を終了いたします。

本日は誠にありがとうございました。